

# 2026年度 大学院授業科目入学前履修制度 出願要項

## 大学院教務委員会

### 1. 趣 旨

本学学部4年生で、大学院に進学を希望する者又は大学院入学試験に合格している者を対象とし、大学院で開講されている授業科目を入学前に履修することで、学部教育から大学院教育への円滑な学習移行や入学までの有益なギャップタームの活用を図ることを目的とします。

### 2. 出願資格

次のいずれかの資格を満たし、申請理由が明確で、且つ学部学生の場合は現在の指導教員及び当該科目担当者の許可を得ている学生

- 1) 本学学部4年生で大学院進学を希望している学生
- 2) 大学院入学試験に合格している学生

※ 別途専攻によって固有の制限を設定している場合もありますので、別紙①を参照してください。

### 3. 開放科目

各専攻が開放する科目は、別紙①の一覧表のとおりとします。

### 4. 履修単位上限

本制度を利用して履修できる大学院授業科目は **5科目 10単位以下**です。

なお、出願できる科目は、指導予定教員の所属専攻の開講科目とします。（入学試験合格者は既に合格している専攻の開講科目とします）※別紙①の一覧表を参照。

また、工学研究科、創造工学研究科及び先進工学研究科の各専攻が開講する科目の履修にあたっては、各専攻修士課程の修了要件（別紙②）を参照し、原則として「専門基礎科目」から優先的に履修してください。

### 5. 出願方法

①出願期間内に「大学院入学前履修生志願書」をPDFにし、manabaのレポートに提出してください。

なお、正式な履修許可は授業開始後となりますが、指導教員（及び科目によっては担当者の許可が得られている場合は、暫定的に授業に出席してください。

②出願期間内に履修を希望する科目のmanabaに自己登録を行ってください。

### 6. 出願期間

前期：2026年4月10日（金）から2026年4月18日（土）まで（春学期開講科目のみ申請可）

後期：決まり次第お知らせします。（秋学期開講科目のみ申請可）

## 7. 出願書類

- ・大学院入学前履修生志願書

(事前に現在の指導教員および科目担当者の許可を得ている必要があります)

## 8. 成績評価方法

成績が確定した段階で、合否をお知らせします。

また、希望者には成績証明書を発行します。

## 9. 単位認定方法

本学大学院に入学した際に、入学前既修得単位として自動で認定します。なお、成績及び単位修得証明書などでの成績表記は通常のA～Dの4段階評価ではなく「認定」となります。

## 別紙① 各専攻の出願可能科目及び別途出願条件について

各専攻の出願可能科目は以下のとおりです。

### 【機械工学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目区分	履修許可	講義室
専門基礎	工業数学特論	春学期	選択	不要	432
	イングリッシュスキルアップ	春学期	選択	不要	644
	技術者・研究者倫理特論	春学期	選択	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	選択	不要	★
専門コア	移動現象特論	春学期	選択	不要	622
	流体工学特論	春学期	選択	不要	622
	振動工学特論	春学期	選択	不要	623
	制御工学特論	春学期	選択	不要	623
	複合材料工学特論	春学期	選択	不要	652
	材料科学特論	春学期	選択	不要	644
	エネルギー工学特論	秋学期	選択	不要	—
	材料強度学特論	秋学期	選択	不要	—
	生産設計特論	秋学期	選択	不要	—
	流体機械特論	秋学期	選択	不要	—
	メカトロニクス特論	秋学期	選択	不要	—
エネルギー材料特論	秋学期	選択	不要	—	

### 【別途の出願制限について】

なし

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金 3・4 限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木 7・8 限 431 講義室

★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

#### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15:00～ 656 講義室）

初級クラス：火曜 7・8 限 644 講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木） 10:00～16:00 内昼食休憩1時間）

#### 【英語論文クラス】

水曜 7・8 限 614 講義室（初回授業：4月15日（水）7・8 限 614 講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定はTOEICに換算して550点以上取得していれば履修可

②初回授業までにmanabaのコース内にあるアンケートに回答すること

## 【機械電子創成工学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目区分	履修許可	講義室
	工業数学特論	春学期	選択	不要	432
専門基礎	技術者・研究者倫理特論	春学期	選択	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	選択	不要	★
専門コア	組込みシステム設計特論	春学期	選択	要	745
	レーザ応用技術特論	春学期	選択	不要	634
	精密加工学特論	春学期	選択	要	745
	燃焼化学工学特論	秋学期	選択	不要	-
	構造解析学特論	秋学期	選択	不要	-
	半導体エネルギー変換工学特論	秋学期	選択	不要	-
	システム制御特論	秋学期	選択	要	-

### 【別途の出願制限について】

- ・「デジタル回路」と「組込みシステム」の単位を修得しており、すべてA評価以上であること。（「組込みシステム設計特論」の出願時のみ適用）
- ・「力学」「材料力学」「機械力学」「シミュレーション工学」の単位を修得しており、かつ4科目の評価が全てSであること。（「構造解析学特論」の出願時のみ適用）
- ・「電気磁気学」「半導体電力変換工学」の単位を修得しており、かつ2科目の評価が全てA以上であること。（「半導体エネルギー変換工学特論」の出願時のみ適用）

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金3・4限 431講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木7・8限 431講義室

★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

#### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15:00～ 656講義室）

初級クラス：火曜7・8限 644講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木）10:00～16:00 内昼食休憩1時間）

#### 【英語論文クラス】

水曜7・8限 614講義室（初回授業：4月15日（水）7・8限 614講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定はTOEICに換算して550点以上取得していれば履修可

②初回授業までにmanabaのコース内にあるアンケートに回答すること

## 【先端材料工学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
専門基礎	工業数学特論	春学期	選択	不要	432
	イングリッシュスキルアップ	春学期	選択	不要	644
	技術者・研究者倫理特論	春学期	選択	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	選択	不要	★
専門コア	材料化学プロセス工学特論	春学期	選択	不要	743
	材料組織学特論	春学期	選択	不要	634
	材料電気化学特論	春学期	選択	不要	621
	材料強度学特論	春学期	選択	不要	613
	構造材料学特論	春学期	選択	不要	623
	電池材料特論	春学期	選択	不要	623
	表面工学特論	秋学期	選択	不要	
	凝固学特論	秋学期	選択	不要	
	塑性加工学特論	秋学期	選択	不要	
	磁性材料特論	秋学期	選択	不要	
エネルギー材料特論	秋学期	選択	不要		

## 【別途の出願制限について】

なし

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金 3・4 限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木 7・8 限 431 講義室

★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15：00～ 656 講義室）

初級クラス：火曜 7・8 限 644 講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木） 10：00～16：00 内昼食休憩1時間）

### 【英語論文クラス】

水曜 7・8 限 614 講義室（初回授業：4月15日（水）7・8 限 614 講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定は TOEIC に換算して 550 点以上取得していれば履修可

②初回授業までに manaba のコース内にあるアンケートに回答すること

## 【電気電子工学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
専門基礎	工業数学特論	春学期	選択	不要	432
	物理数学特論	春学期	選択	不要	636
	技術者・研究者倫理特論	春学期	選択	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	選択	不要	★
専門コア	産業計測工学特論	春学期	選択	要	624
	先進光エレクトロニクス	春学期	選択	要	624
	放電プラズマ工学特論	秋学期	選択	要	-
	制御工学特論	秋学期	選択	不要	-
	センサシステム特論	秋学期	選択	要	-
	エネルギーデバイス工学	秋学期	選択	不要	-

### 【別途の出願制限について】

- ・科目担当教員と面談の後、科目担当教員が許可した者。（先進光エレクトロニクスの出願時のみ適用）
- ・センサシステム特論の出願時は、本学電気電子工学科開講科目の計測システム工学の単位（他学科の場合は、それに相当する科目の単位）を取得していること。
- ・放電プラズマ工学特論の出願時は、本学電気電子工学科開講科目のプラズマエレクトロニクス（他学科の場合は、それに相当する科目）の単位を修得していること。

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金 3・4 限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木 7・8 限 431 講義室

★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

#### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15:00～ 656 講義室）

初級クラス：火曜 7・8 限 644 講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木） 10:00～16:00 内昼食休憩1時間）

#### 【英語論文クラス】

水曜 7・8 限 614 講義室（初回授業：4月15日（水）7・8 限 614 講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定はTOEICに換算して550点以上取得していれば履修可

②初回授業までにmanabaのコース内にあるアンケートに回答すること

## 【情報通信システム工学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
専門基礎	工業数学特論	春学期	選択	不要	432
	物理数学特論	春学期	選択	不要	636
	技術者・研究者倫理特論	春学期	選択	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	選択	不要	★
専門コア	量子エレクトロニクス特論	春学期	選択	不要	721 演習室
	無線センサネットワーク特論	春学期	選択	不要	743
	無線通信工学特論	春学期	選択	要	613
	情報ネットワーク科学特論	春学期	選択	要	746
	信号解析特論	春学期	選択	不要	746
	非線形工学特論	秋学期	選択	要	－
	情報メディア工学特論	秋学期	選択	不要	－
	ソフトウェア開発技法特論	秋学期	選択	不要	－
	光無線通信システム特論	秋学期	選択	不要	－

## 【別途の出願制限について】

なし

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金 3・4 限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木 7・8 限 431 講義室

★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15：00～ 656 講義室）

初級クラス：火曜 7・8 限 644 講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木） 10：00～16：00 内昼食休憩1時間）

### 【英語論文クラス】

水曜 7・8 限 614 講義室（初回授業：4月15日（水）7・8 限 614 講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定はTOEICに換算して550点以上取得していれば履修可

②初回授業までにmanabaのコース内にあるアンケートに回答すること

## 【応用化学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
専門基礎	技術者・研究者倫理特論	春学期	選択	不要	◆
	工業数学特論	春学期	選択	不要	432
	技術発達史的な分析特論	秋学期	選択	不要	—
	世界の文化特論	秋学期	選択	不要	—
専門コア	応用電気化学特論	春学期	選択	要	624
	無機材料化学特論	春学期	選択	要	654
	機器分析特論 1	春学期	選択	要	654
	有機量子化学特論	秋学期	選択	要	
	化学熱力学特論	秋学期	選択	要	
	有機材料化学特論	秋学期	選択	要	
	高分子材料特論	秋学期	選択	要	
	機器分析特論 2	秋学期	選択	要	

## 【別途の出願制限について】

・累積 GPA が上位 50%以内であること。

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金 3・4 限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木 7・8 限 431 講義室

## 【建築学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
専門基礎	技術者・研究者倫理特論	春学期	選択	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	選択	不要	★
	建築設計法規特論	秋学期	選択	要	—
専門コア	建築計画特論	秋学期	選択	要	—
	建築材料特論	秋学期	選択	要	—

## 【別途の出願制限について】

なし

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金 3・4 限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木 7・8 限 431 講義室

★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15:00～ 656 講義室）

初級クラス：火曜 7・8 限 644 講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木） 10:00～16:00 内昼食休憩1時間）

### 【英語論文クラス】

水曜 7・8 限 614 講義室（初回授業：4月15日（水）7・8 限 614 講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定は TOEIC に換算して 550 点以上取得していれば履修可

②初回授業までに manaba のコース内にあるアンケートに回答すること

## 【都市環境工学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
専門基礎	工業数学特論	春学期	選択	不要	432
	物理数学特論	春学期	選択	不要	636
	技術者・研究者倫理特論	春学期	選択	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	選択	不要	★
専門コア	交通プロジェクト評価特論	春学期	選択	要	745
	応用力学特論	春学期	選択	要	745

## 【別途の出願制限について】

なし

- ◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金 3・4 限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木 7・8 限 431 講義室

- ★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15:00～ 656 講義室）

初級クラス：火曜 7・8 限 644 講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木） 10:00～16:00 内昼食休憩1時間）

### 【英語論文クラス】

水曜 7・8 限 614 講義室（初回授業：4月15日（水）7・8 限 614 講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定は TOEIC に換算して 550 点以上取得していれば履修可

②初回授業までに manaba のコース内にあるアンケートに回答すること

## 【デザイン科学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
専門基礎	世界の文化特論	春学期	選択	不要	746
	イングリッシュスキルアップ	春学期	選択	不要	644
	技術者・研究者倫理特論	春学期	選択	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	選択	不要	★
専門コア	デザインイノベーション特論	春学期	選択	要	746
	デザイン解析特論	春学期	選択	要	743
	デザインカルチャー特論	春学期	選択	要	学科大ゼミ
	デザイン先端技術特論	秋学期	選択	要	－
	ソーシャルデザイン特論	秋学期	選択	要	－
	ヒューマンファクターエンジニアリング特論	秋学期	選択	要	－
	空間デザイン特論	秋学期	選択	要	－
	プロダクトデザイン特論	秋学期	選択	要	－
	ブランディング・プロモーションデザイン特論	秋学期	選択	要	－
	データビジュアライゼーション特論	秋学期	選択	要	－
プロジェクトデザイン特論	秋学期	選択	要	－	

### 【別途の出願制限について】

・出願制限があります。必ず事前に学科（指導教員）に確認すること。

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金 3・4 限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木 7・8 限 431 講義室

★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

#### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15：00～ 656 講義室）

初級クラス：火曜 7・8 限 644 講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木） 10：00～16：00 内昼食休憩1時間）

#### 【英語論文クラス】

水曜 7・8 限 614 講義室（初回授業：4月15日（水）7・8 限 614 講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定は TOEIC に換算して 550 点以上取得していれば履修可

②初回授業までに manaba のコース内にあるアンケートに回答すること

## 【未来ロボティクス専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
専門基礎	工業数学特論	春学期	選択	不要	432
	技術者・研究者倫理特論	春学期	必修	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	選択	不要	★
専門コア	ロボット設計学特論	春学期	選択	不要	633
	インテリジェントロボットモーション	春学期	選択	不要	645
	アドバンスダイナミクス	春学期	選択	不要	633
	アドバンスコントロール	春学期	選択	不要	633
	確率ロボティクス	秋学期	選択	不要	—
	アドバンスビジョン	秋学期	選択	不要	—
	電気電子システム工学特論	秋学期	選択	不要	—
	バイオ／メディカルロボティクス	秋学期	選択	不要	—
	感性ロボティクス特論	秋学期	選択	不要	—

### 【別途の出願制限について】

- ・出願時の累積GPAが2.5以上であること。
- ・「メカニクス1」「メカニクス2」の単位を修得していること。（「アドバンスダイナミクス」の出願時のみ適用）

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デコ・知能 : 金3・4限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木7・8限 431 講義室

★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

#### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15:00～ 656 講義室）

初級クラス：火曜7・8限 644 講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木）10:00～16:00 内昼食休憩1時間）

#### 【英語論文クラス】

水曜7・8限 614 講義室（初回授業：4月15日（水）7・8限 614 講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定はTOEICに換算して550点以上取得していれば履修可

②初回授業までにmanabaのコース内にあるアンケートに回答すること

## 【生命科学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
専門基礎	工業数学特論	春学期	選択	不要	432
	技術者・研究者倫理特論	春学期	必修	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	必修	不要	★
	イングリッシュスキルアップ	春学期	選択	不要	644
	世界の文化特論	秋学期	選択	不要	—
	技術発達史的 analysis 特論	秋学期	選択	要	—
	最先端生命科学研究特論	秋学期	選択	要	—
専門コア	生化学特論	春学期	選択	要	745
	分子生物学特論	春学期	選択	要	634
	ウイルス学・免疫学特論	春学期	選択	要	746
	生体分子工学特論	秋学期	選択	要	—
	木質資源科学特論	秋学期	選択	要	—
	ゲノム生態学特論	秋学期	選択	要	—

## 【別途の出願制限について】

・出願時に累積GPAが上位30%以内であること。

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金3・4限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木7・8限 431 講義室

★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15:00～ 656 講義室）

初級クラス：火曜7・8限 644 講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木） 10:00～16:00 内昼食休憩1時間）

### 【英語論文クラス】

水曜7・8限 614 講義室（初回授業：4月15日（水）7・8限 614 講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定はTOEICに換算して550点以上取得していれば履修可

②初回授業までにmanabaのコース内にあるアンケートに回答すること

## 【知能メディア工学専攻】

科目区分	科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
専門基礎	工業数学特論	春学期	選択	不要	432
	イングリッシュスキルアップ	春学期	選択	不要	644
	技術者・研究者倫理特論	春学期	必修	不要	◆
	論文作成・プレゼンテーション技法特論	春学期	選択	不要	★
専門コア	システム評価特論	春学期	選択	不要	645
	情報デザイン技術特論	春学期	選択	要	645
	応用知能システム特論	秋学期	選択	要	—
	空間音響学特論	秋学期	選択	不要	—

## 【別途の出願制限について】

・科目担当教員と面談の後、科目担当者が許可した者。

（「応用知能システム特論」「情報デザイン技術特論」の出願時のみ適用）

◆「技術者・研究者倫理特論」の授業時間・教室は専攻毎に異なりますのでご注意ください。

機械・材料・応化・建築・都市・デ科・知能 : 金 3・4 限 431 講義室

機電・電電・通信・未口・生命 : 木 7・8 限 431 講義室

★「論文作成・プレゼンテーション技法特論」は日本語（初級・上級）クラスと英語論文クラスに分かれます

### 【日本語（初級・上級）クラス】

初回授業時にクラス分け課題を実施（4月14日（火）15:00～ 656 講義室）

初級クラス：火曜 7・8 限 644 講義室

上級クラス：夏期集中授業で実施（日程：7月30日（木）、31日（金）、8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木） 10:00～16:00 内昼食休憩1時間）

### 【英語論文クラス】

水曜 7・8 限 614 講義室（初回授業：4月15日（水）7・8 限 614 講義室）

①TOEIC550点以上、その他の英語検定は TOEIC に換算して 550 点以上取得していれば履修可

②初回授業までに manaba のコース内にあるアンケートに回答すること

**【情報科学専攻】**

科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
パターン認識特論	春学期	選択	不要	742
応用制御システム特論	春学期	選択	不要	742
通信システム特論	春学期	選択	不要	748
知能情報工学特論	春学期	選択	不要	748
ソフトウェア工学特論	春学期	選択	不要	742
計算機システム特論	春学期	選択	不要	748
データ工学特論	春学期	選択	不要	742
構成論的知能システム特論	春学期	選択	不要	743
認知情報特論	春学期	選択	不要	742
知識工学特論	春学期	選択	不要	748
アルゴリズム特論	秋学期	選択	不要	—
聴覚工学特論	秋学期	選択	不要	—
知能機械工学特論	秋学期	選択	不要	—
コンピュータシミュレーション特論	秋学期	選択	不要	—
コンピュータネットワーク特論	秋学期	選択	不要	—
エージェントシステム特論	秋学期	選択	不要	—
メディア情報処理特論	秋学期	選択	不要	—
ネットワークアルゴリズム特論	秋学期	選択	不要	—
インストラクショナルデザイン特論	秋学期	選択	不要	—
信号処理特論	秋学期	選択	不要	—
情報セキュリティ特論	秋学期	選択	不要	—
コミュニケーション科学特論	秋学期	選択	不要	—
教授・学習支援システム特論	秋学期	選択	不要	—

**【別途の出願制限について】**

- ・なし

## 【マネジメント工学専攻】

科目名称	開講期	科目種別	履修許可	講義室
会計学特論	春学期	選択	不要	748
生産システム工学特論	春学期	選択	不要	746
環境システム工学特論	春学期	選択	不要	748
経営システム工学特論	春学期	選択	不要	746
情報システム特論	春学期	選択	不要	743
製品開発プロジェクト特論	春学期	選択	不要	PM 学科大ゼミ
リスク解析特論	春学期	選択	不要	金融学科大ゼミ
経営学特論	春学期	選択	不要	748
情報通信技術 (ICT) 特論	春学期	選択	不要	746
データ解析特論	春学期	選択	不要	745
プログラムマネジメント特論	春学期	選択	不要	746
技術経営特論	秋学期	選択	不要	—
ファイナンス特論	秋学期	選択	不要	—
産業人間工学特論	秋学期	選択	不要	—
ソフトウェア開発プロジェクト特論	秋学期	選択	不要	—
プロジェクトマネジメント特論	秋学期	選択	不要	—
国際プロジェクト特論	秋学期	選択	不要	—
リスクマネジメント工学特論	秋学期	選択	不要	—
数理的意思決定理論	秋学期	選択	不要	—
データサイエンス特論	秋学期	選択	不要	—
ナレッジマネジメント特論	秋学期	選択	不要	—

## 【別途の出願制限について】

- ・3年後期までの累積GPAが原則2.5以上。ただし、所属学科から強い推薦がある場合は、累積GPAが上位50%までの学生の出願と受講を認める。